

第2期県立高校将来構想 (検討材料)

「第2期県立高校将来構想」(構成)

第1章 第2期県立高校将来構想の策定について

1 策定の趣旨

2 構想の期間

(H27~36)

第2章 高校教育を巡る現状と課題について

1 県立高校を取り巻く状況の変化

- 社会の変化
- 家庭・地域の変化
- 教育を巡る国の動き

2 県立高校の現状と課題

- 生徒の多様化
- 生徒のニーズの多様化
- 中学校卒業生数の減少

第3章 今後の県立高校の在り方について

1 めざすべき県立高校像

県立高校像を考える視点

- 生きる力の確実な育成に向けた教育の推進
- 社会の変化への対応
- 生徒の多様化への対応
- 生徒減少への対応
- 現行構想の成果と課題

基本的コンセプト

- 生徒が夢を育み、志をもって学ぶ学校
- 生徒や教職員が生き生きと活動し、活力のある学校
- 地域に愛され、地域とともにある学校

2 教育活動の充実

- 確かな学力を育成する教育の充実
- 豊かな心を育む教育の充実
- 健やかな体を育む教育の推進
- グローバル人材の育成
- ICT活用の推進 等

3 教育環境の充実

- 教職員の資質能力の向上
- 地域と連携した学校づくり 等

第4章 特色ある学校づくりと学校・学科の整備再編について

1 特色ある学校づくり

- 《全日制課程の方向性》
- 《定時制課程・通信制課程の方向性》
- 《中高一貫教育の推進》

2 学校・学科の再編整備

- 《全日制課程》
- 再編整備の必要性
- 再編整備の進め方
- 望ましい学校規模
- 再編整備後の取扱い

第5章 将来構想の推進について

- 実施計画の策定

第4章 特色ある学校づくりと学校・学科の再編整備について

1 特色ある学校づくり

- 生徒のニーズが多様化し、中学校卒業見込者数が減少する中で、選択幅の広い教育の推進や活力ある教育活動の展開、生徒同士が切磋琢磨する環境づくりなど、高校教育の質の確保・向上を図るために、特色ある学校づくりと学校・学科の再編整備が必要である。
 - 大学等への進学に重点を置く取組や高度な専門性をもった産業人材の育成に向けた取組を拠点となって進める学校を地域バランスを踏まえて配置
 - 生徒のニーズや地域の状況を踏まえた学校・学科の設置や適正な定員設定

- 特色ある学校づくりを推進するために、地域と連携した教育活動を展開することが重要である。
 - 地域社会の教育力の活用
 - 地域貢献に向けた取組の充実

(1) 全日制課程の方向性

《普通科系の学科》

- 生徒の多様な進路希望や能力・適性、興味・関心に対応し、一人ひとりの個性を伸ばさせるため、教科・科目の選択幅の拡大が必要である。
 - 学校規模の拡大に向け再編統合を検討
 - 地域バランスも考慮して単位制高校の拡充を検討
 - 発展的な学習や義務教育段階での学習内容の学び直し等、教育課程の工夫・改善

- 生徒や保護者の大学等への進学ニーズを踏まえ、進路希望の実現につながる確かな学力の育成が必要である。
 - 大学等への進学に重点を置く取組の推進
 - 理数科、英語科についてはそのあり方の見直しも含めて検討

- 将来の社会的な自立に向けた目的意識の醸成が必要である。
 - 大学等高等教育機関や産業界等との連携を強化するなどキャリア教育を推進

《専門学科》

- 選択幅の広い学習と活力ある教育活動の展開が可能となるよう、学校規模の拡大が必要である。
 - 社会の変化、生徒・地域の実態やニーズ等を勘案し、再編統合等について検討するとともに、専門高校をリードする学校を設置
 - 各学科の枠を越えた学習を可能とする教育課程の工夫

- 地域産業を支える将来のスペシャリストとして、産業構造の変化に対応し、生涯にわたって社会で活躍できる人材を育成する必要がある。
 - 地域の特性を生かし、産学公連携カリキュラムなどの地域産業界や関係機関と連携した教育活動を推進
 - 専門的分野の資格取得を推進するとともに、専門的分野以外の資格取得の取組等を通して、幅広い学習指導を充実

- 基礎学力とともに、望ましい職業意識や責任感などの将来の社会人として求められる基礎的資質・能力の定着を図ることが重要である。
 - 企業見学やインターンシップ等、地域と連携したキャリア教育の充実
 - 学校のもつ教育機能の地域への提供

【農業に関する学科】

- 農業教育に対する、生徒・保護者や地域のニーズを踏まえて、全県的な視野に立った配置について検討する必要がある。
 - 農業教育の推進にあたって拠点的な役割をもつ学校の配置

- 農業に係る基礎的・基本的な知識と技術を習得させるとともに、6次産業化等の新しい取組にチャレンジできる人材を育てることが必要である。
 - 地域社会や産業界、県立農業大学校等と連携したプロジェクト学習（PDCAサイクルによる課題解決学習）等の実践的教育内容の充実
 - 他の学科や分野（商・工・水・家）との連携を深め、第6次産業化を考えた広い視野からの学習を実施

- 農業や関連産業を担い、将来の地域社会に貢献できる人材を育てるために、地域と連携した教育を推進することが重要である。
 - 地域と連携し、農産品を使用した商品開発などの地域の活性化に寄与す

る取組を実施

- 小・中学生に対して積極的な体験学習を行うなど、農業高校への認識を広めるとともに、農業体験の場を提供

[工業に関する学科]

- 生徒・保護者や地域のニーズに対応し、活力ある教育活動や選択幅の広い教育を展開するため、学校規模の拡大を図るとともに、地域バランスを踏まえた学校・学科の配置が必要である。
 - 学校規模の拡大を図るため再編整備を検討
 - 工業教育の拠点的な役割をもつ学校を配置し、企業・大学・研究機関等との連携を一層推進
- 将来のスペシャリストとして、基礎・基本を確実に習得させるとともに、実践的な技術・技能をあわせもった技術者の育成が必要である。
 - 少人数指導や習熟度別指導、学びなおし等、教育課程等の工夫により、基礎・基本をより一層重視した学習を展開
 - ものづくりに係る大会への積極的参加や高度な資格取得の推進、優れた技術や人材に触れる場の設定など、ものづくりの技術・技能を高める学習を展開
- 地域との連携をより密にし、生徒の地域への理解と貢献の意識を深めさせるなど、地域産業を担う技術者の育成が必要である。
 - 長期のインターンシップ、企業と合同の研究開発など地域との連携・交流を通じた実践的教育の充実
 - 企業の開発担当者やマイスターなど外部人材を活用した授業等、地域との連携を強化した取組の充実

[商業に関する学科]

- 社会の変化や多様な進路希望等に対応するとともに、活力ある教育活動を展開するため、学校・学科の再編整備について検討することが必要である。
 - 再編統合により、規模の拡大を図るとともに、他学科との連携を積極的に実施し、総合的・実践的な学習を推進
 - 情報に特化した学科については、総合的に情報を学ぶことのできる学科

への見直しを検討

- 起業の精神にあふれビジネスの諸活動を主体的・創造的に行うことができるビジネススペシャリストを育成することが必要である。
 - 情報通信ネットワークを活用したビジネスの広がりに対応するため、情報通信技術をビジネスの諸活動に応用する能力の育成を目指した学習指導の充実
 - 国際化に対応するため、ビジネスに必要な基礎的な英語力のコミュニケーション能力の育成を目指した学習指導の充実

- 主体的に将来の地域を支え、地域で活躍できる人材を育成することが必要である。
 - 産学公と連携した地域振興方策の提案と考案など、探究的・課題解決的な学習活動の一層の充実
 - 起業家精神をもって、地元企業との共同による商品開発・販売実習を行うなど、企業や地域と連携した体験的な教育活動を一層充実

[水産に関する学科]

- 水産技術の高度化、海を取り巻く産業の国際化や情報化、海洋性レクリエーションの多様化等に伴い、水産や海洋を取り巻く環境の変化に主体的に対応し、関連産業等の発展に貢献できる人材の育成が必要である。
 - 関係機関等と連携し、漁業後継者の育成に向けた漁業体験の実施
 - 資格取得を積極的に進め、実践力が身に付く水産教育を推進

- 「海・船・水産物」を活用し、航海技術、漁業生産技術や海域の特性を生かした資源管理・種苗生産や付加価値を高めた加工技術・製品開発、環境を漁場から海洋という視点で捉えた海洋環境の保全に関する教育が重要である。
 - 地域社会や産業界、県水産研究センター等と連携したプロジェクト学習（PDC Aサイクルによる課題解決学習）等の実践的教育内容の充実
 - 他の学科や分野（農・商・工）との連携を深め、6次産業化を考えた広い視野からの学習を実施
 - 中学生や保護者、他学科に対して積極的な体験乗船や授業公開を行い水産科への認識を広めるとともに、水産体験の場を提供

[家庭に関する学科]

- 少子高齢化の進展やライフスタイルの多様化、食育の推進など社会の要請に対応し、生活産業への消費者ニーズを的確に捉え主体的に対応できる企画力・マネジメント能力を身に付けた人材の育成が必要である。
 - 地域産業との連携を積極的に図りながら地域社会が抱える課題の解決や生活の質の向上を目指す実践的な学習活動の推進
 - 他学科との連携を図り、互いの専門性を生かしながら課題の解決に取り組む学習活動を推進
 - 異なる学科との再編統合についても検討
- 生活産業に関する基礎的・基本的な知識と技術を確実に習得させることが必要である。
 - 資格取得や各種コンテストへの参加を推進
- 生活産業に従事する者として求められる職業人としての規範意識に基づいた倫理観を育成することが必要である。
 - 生活産業に関する体験学習や就業体験の推進

[看護に関する学科]

- 医療の高度化に対応した安全で確実な看護技術を身に付けさせるとともに、専門性の高い看護判断能力を育成する必要がある。
 - 医療施設だけでなく看護の実施されている様々な施設での実習や、医療職・福祉職などの社会人講師を積極的に活用するなど教育課程の充実
 - 地域や産業界等との連携を図り、産業現場等における長期間の実習を取り入れるなどの就業体験の推進
- 看護倫理やコミュニケーション能力などの豊かな人間性の育成を図る必要がある。
 - 看護技術を生かした地域社会との交流活動の推進

[福祉に関する学科]

- 質の高い介護福祉士を養成するため、幅広い教養を身に付けた上で介護福祉士の資格取得を目指す高度な専門教育を行うことが重要である。
 - 質の高い介護福祉士を養成する福祉専攻科の設置

- 高齢化の進展に伴い、増大が予想される介護に対するニーズに応える福祉人材の育成が求められている。
 - 福祉教育の質的向上をめざした大学や専門学校等との連携
- 中長期的に福祉事業者を育成するという観点から、福祉に関する生徒の興味・関心の向上を図るとともに、豊かな人間性を育むことが必要である。
 - 小・中学生や保護者に対する積極的な実習体験や授業公開
 - 地域の社会福祉団体や社会福祉施設との相互交流

《総合学科》

- 社会が変化する中、生徒のニーズ等を踏まえた特色づくりが必要である。
 - 学校規模の拡大による多様な選択科目の設定を図るため、異なる学科との再編統合について検討
 - 県内にバランスよく配置することについて検討
 - 地域のニーズや生徒の実態を踏まえた教育課程となるよう、学校設定科目や系列の見直し
 - 進学指導を重視した教育活動を行うなど、各校の特色を生かした魅力ある教育活動の展開を推進
- 社会に積極的に寄与しようとする人材を育成するとともに、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を育成することが重要である。
 - 企業見学やインターンシップ等、地域と連携したキャリア教育の充実
 - ガイダンス機能と一人ひとりに対応したきめ細かい進路指導の充実

(2) 定時制・通信制課程の方向性

○ 以前からの「働きながら学ぶ」生徒に加え、不登校経験者や全日制課程からの転入学者、中途退学者など、様々な入学動機や学習歴を持つ生徒が学ぶ場となっている。

こうした中、これらの多様な生活スタイルや学習ニーズをもった生徒が学ぶことができるようにするため、柔軟に対応することができる学校づくりが必要である。

- 生徒が自分の生活時間に合わせて受講することが可能となるよう、多部制の設置を検討
- 夜間定時制の再編により学校規模を確保し、活力ある教育活動を展開
- 生徒の入学状況や交通の利便性等を勘案しながら、地域バランスに考慮した適切な配置を検討
- 現在ある通信制課程を多部制の定時制課程を置く高校に併置する方向で検討
- 3年修業制や単位制を拡充など、より柔軟な教育システムの構築
- 計画的なインターンシップの実施など、生徒のキャリア発達を支援する教育活動の充実を図り、若者の社会的自立を支援
- 県民の多様な学習ニーズに対応する幅広い学習機会を提供するため、社会人のための聴講制度の導入など、学校の教育機能の提供
- 通信制課程においては、平日スクーリングの拡充について検討するとともに、インターネットなどの活用による教育活動の拡充を検討

(3) 中高一貫教育の推進

○ 中等教育の多様化・複線化を図り、児童生徒・保護者等のニーズの多様化に応えることが必要である。

- 県内の配置バランス等を踏まえた中高一貫教育の拡充を検討するとともに、進学指導に重点を置いた中高一貫教育校の設置について検討
- 地域のニーズ等を踏まえた適正な定員配置について検討

○ 個性の伸長や優れた才能の発見に努める上で、6年間の計画的・継続的な教育指導を展開する中高一貫教育は有効である。

- 多様な生徒の能力・適性、興味・関心、進路希望に的確に対応した教育

課程のさらなる充実

- 社会性や豊かな人間性を育成するための教育活動の充実が重要である。
- 異年齢集団による生徒同士の活動の充実
- 地元小学校や地域と一体となった取組など教育活動の工夫・改善